

熊本市新庁舎整備に関する座談会

2025.3.4

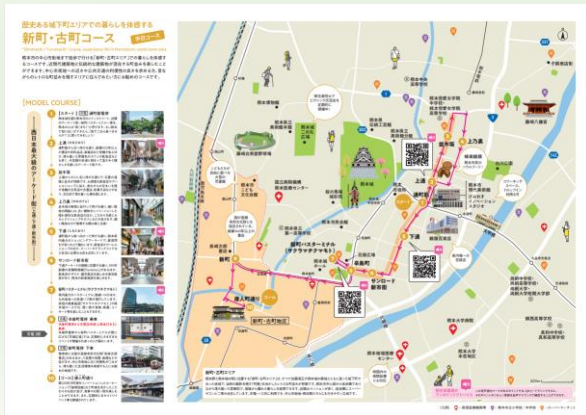
■ 本日のスケジュール

時 間	内 容		場 所
9：30 ～ 9：35	本日の流れの説明		花畑広場 （花畑公園前）
9：35 ～ 9：40	① 散策	地図の確認	
9：40 ～ 10：00		周辺散策	新庁舎建設地周辺
10：00 ～ 10：05		気づきの共有	市民会館 （第7会議室）
10：05 ～ 10：20		市から現況説明	
10：20 ～ 11：00	③ ワーク	市民が注目するポイント	
11：00 ～ 11：20		ワーク結果の共有	
11：20 ～ 11：30	④ まとめ	講評、雑談トーク	

周 辺 散 策

周辺散策

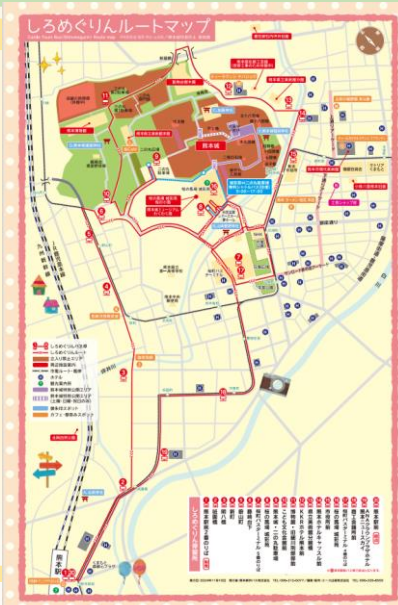
いろいろなマップ、あります。



くまもとの暮らし体験MAP「うろんころん熊本市」のご案内
熊本はどう？（熊本市公式移住情報サイト）
(kumamotodo.jp)



熊本市歴史的風致維持向上計画（くまもと歴史まちづくり計画）/ 熊本市ホームページ
(city.kumamoto.jp)



しろめぐりん公式サイト「熊本城周遊バスしろめぐりん」
(shiromegurin.com)



観光パンフレット「熊本国際観光コンベンション協会」
(kumamoto-icb.or.jp)

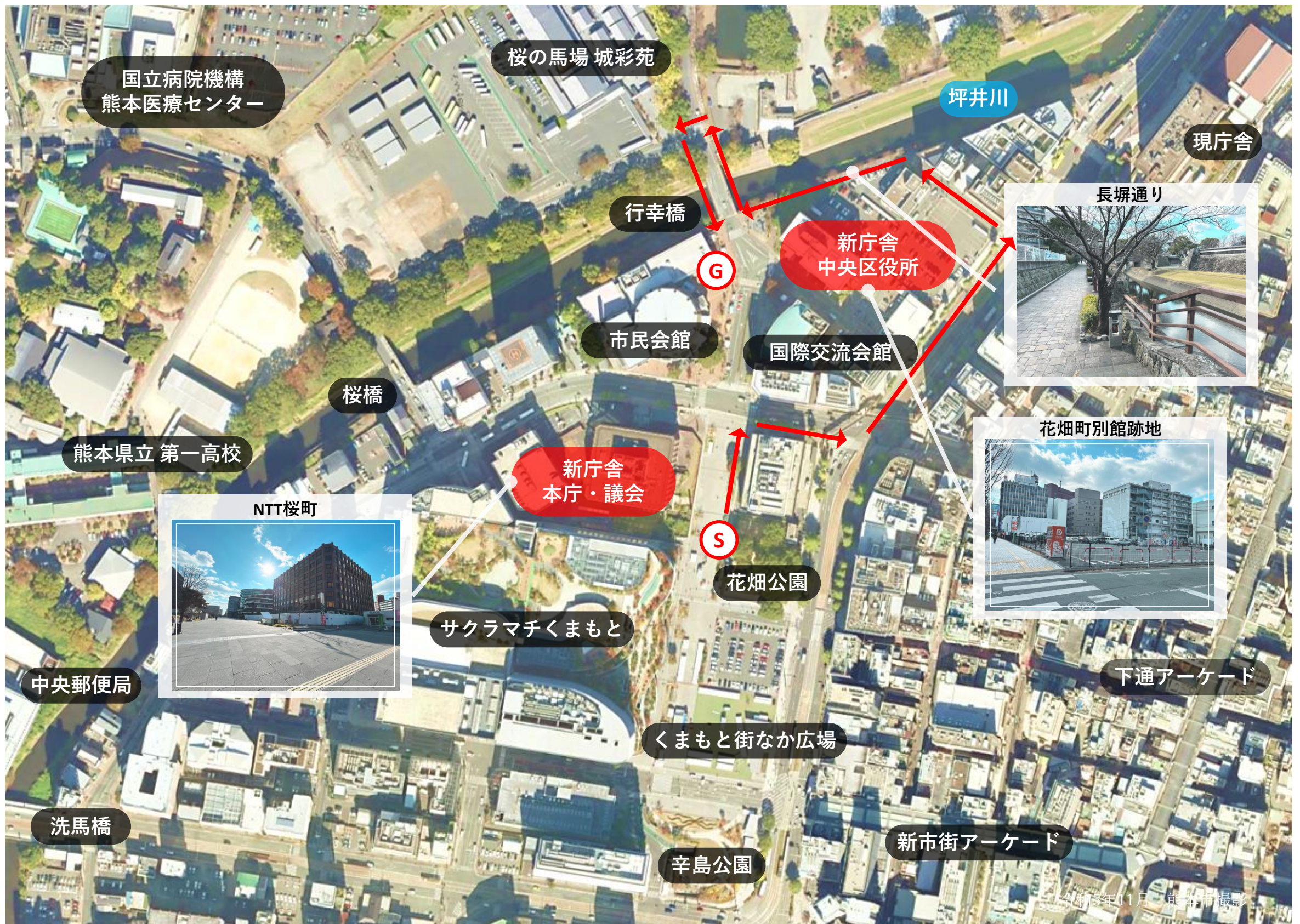


観光パンフレット「熊本国際観光コンベンション協会」
(kumamoto-icb.or.jp)



景観まちあるき / 熊本市ホームページ
(city.kumamoto.jp)

周边散策



令和5年11月 熊本市撮影

歴史に想いを馳せる



■ 歴史に想いを馳せる

現庁舎周辺、昭和初期の様子

熊本市役所（二代目）

熊本逓信局
(後の九州電気通信局局舎)

(景百本熊)
む望か街衙官りよ通前所役市
THE MUNICIPAL OF STREET
AND PROSPECT.

■ 歴史に想いを馳せる

新庁舎周辺、昭和5～18年頃の様子



■ 歴史に想いを馳せる

初代 庁舎 (旧熊本区役所) 1889～



二代目 庁舎 1923～



熊 本 市 役 所 の 歴 代



三代目 庁舎 1981～

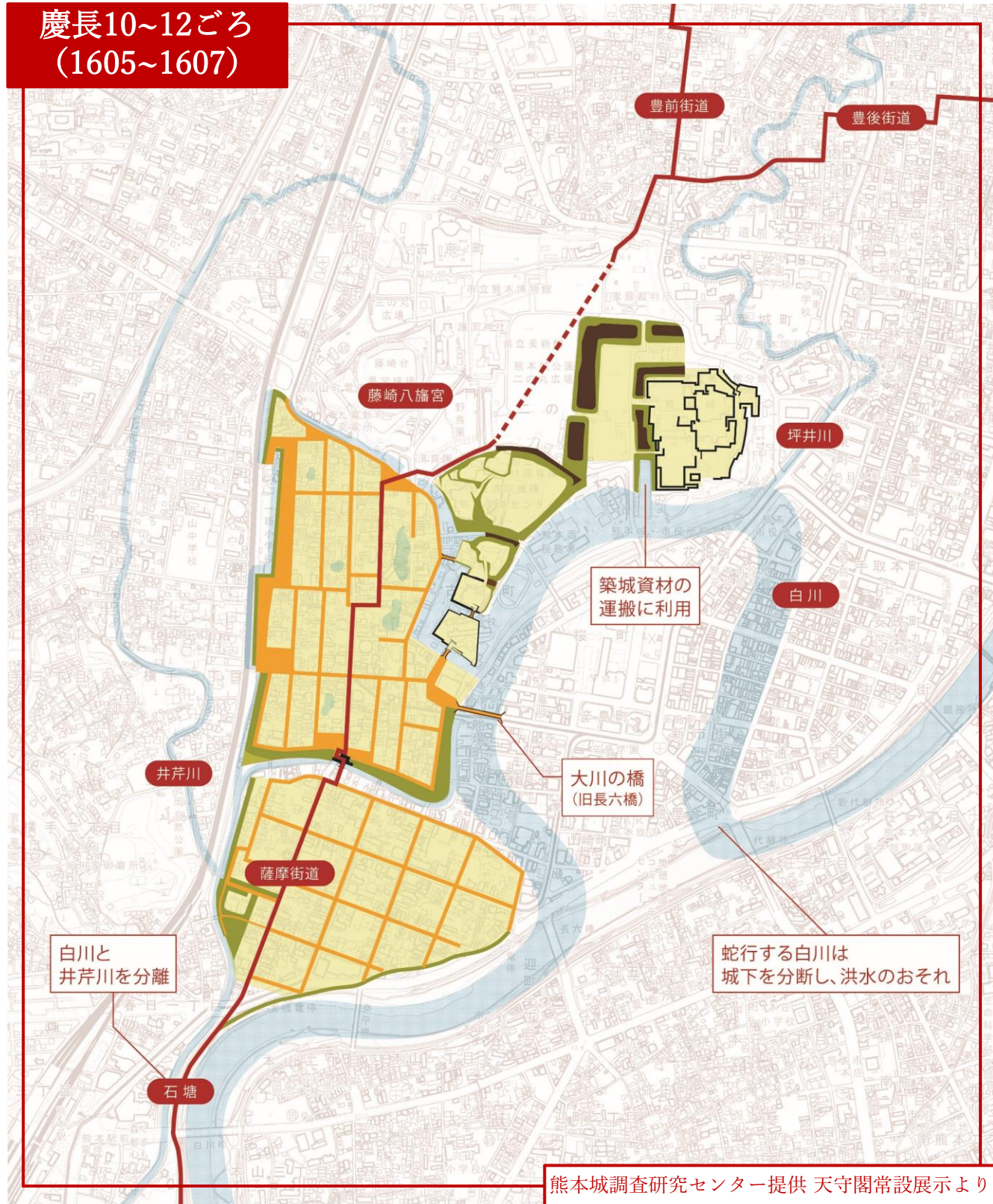


歴史に想いを馳せる

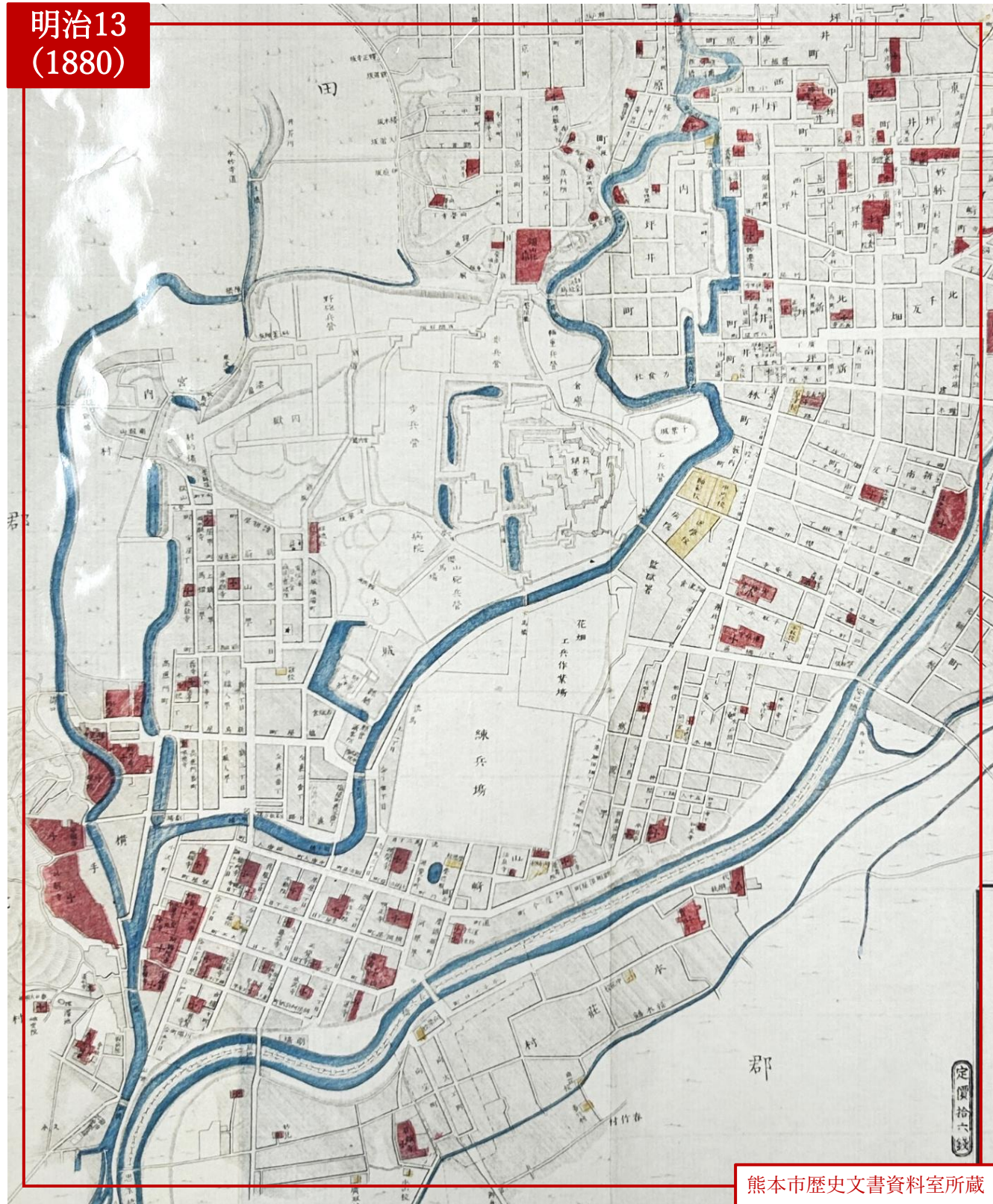
熊本市の主な出来事	現熊本市役所敷地	現NTT西日本桜町ビル敷地	旧花畑町別館跡地
明治22(1889)市町村制が施行され熊本市誕生、現在の白川公園前に市役所(一代目)開庁、明治熊本地震発生 一代目の熊本市役所 『熊本市誌』熊本市歴史文書資料室所蔵 大正10(1921)大熊本市誕生(11ヵ町村合併：黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山) 大正13(1924)市営電車開通、市上水道通水開始、歩兵第二十三連隊渡鹿移転(市三大事業) 昭和2(1927)市営乗合自動車(市営バス)が7台で営業を開始 昭和20(1945)アメリカ軍が熊本市を空襲(中心市街地の大半が焼失) 熊本市空襲被害状況 熊本市歴史文書資料室所蔵 昭和28(1953)6.26大水害発生 昭和35(1960)熊本城天守再建 熊本城再建の様子(昭和34~35年) 平成19(2007)熊本城築城400年 平成23(2011)九州新幹線全線開業 平成24(2012)政令指定都市となる 平成28(2016)熊本地震発生	熊本監獄が使用 熊本地方専売局の煙草工場(大正13~昭和2年) 熊本市歴史文書資料室所蔵 大正5(1916)熊本監獄が渡鹿へ移転完了 大正12(1923)手取本町に市役所新庁舎(二代目)落成 二代目の熊本市役所(昭和54年) 高橋公園内四河(アズマヤ) 市役所庁舎(二代目)の正面バルコニーは、高橋公園に移築復元された▶ 昭和33(1958)南新館増築 昭和35(1960)東新館増築 熊本市役所と東新館 熊本市歴史文書資料室所蔵 昭和46(1971)旧九州電気通信局局舎を別館として使用 昭和56(1981)新市庁舎(三代目)建設完成 三代目の熊本市役所	熊本鎮台騎兵營が使用 明治31(1898)熊本市と陸軍省の土地交換 明治32(1899)山崎練兵場跡地の整地工事(市区改正事業)開始 明治42(1909)行幸町・天神町・桜町などの新町名 明治43(1910)南側隣地に熊本地方専売局の煙草工場が落成 商業・金融、弁護士事務所等が並び始める 大正10(1921)熊本商業会議所が新築(行幸町6・7・8番地) 熊本商業会議所(大正10年) 『熊本商工会議所建築記念誌』熊本県立図書館所蔵 昭和3(1928)日本電報社熊本支局が開設(行幸町1番地) 昭和5(1930)北側隣地に市会堂新館が落成 昭和21(1946)新県庁舎南別館落成 熊本県庁本館(昭和25年) 『熊本県議会史第五巻』 昭和40(1965)行幸町が桜町に町名変更 昭和42(1967)熊本県庁が水前寺に移転開庁、跡地はバスターミナル用地・九州電気通信局舎建設用地に(譲渡決定) 昭和43(1968)北側隣地に市民会館開館 昭和44(1969)県庁跡地に熊本交通センター開所 昭和46(1971)電電公社九州電気通信局庁舎(のちNTT西日本桜町ビル・熊本支店)完成 電電公社九州電気通信局庁舎 令和1(2019)熊本城ホール完成	歩兵第23連隊が使用 熊本市三大事業記念国産共進会 会場前景(大正14年) 『熊本市三大事業記念国産共進会誌』熊本市歴史文書資料室所蔵 大正14(1925)歩兵第23連隊跡地で熊本市三大事業記念国際共進会開催 昭和10(1935)熊本貯金支局を開設 熊本貯金支局(昭和23年頃) 熊本市歴史文書資料室所蔵 昭和24(1949)逓信省が郵政省になると同時に、名称が熊本地方貯金局となる。 昭和25(1950)熊本地方貯金局の4階増築工事竣工 花畑町別館 昭和51(1976)旧熊本地方貯金局舎を花畑町別館として使用 平成28(2016)熊本市役所花畑町別館が閉鎖

歴史に想いを馳せる

慶長10~12ごろ
(1605~1607)

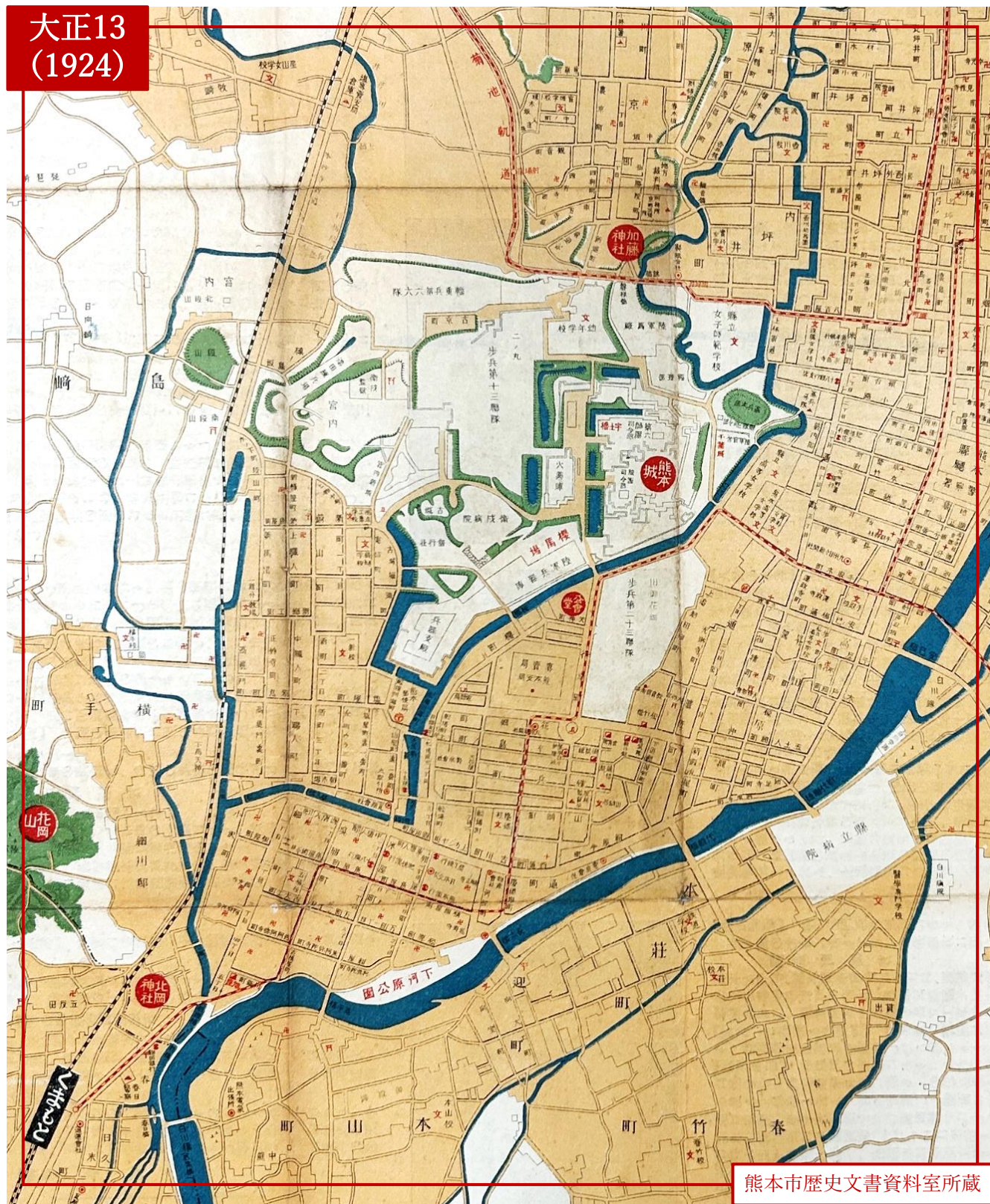


明治13
(1880)



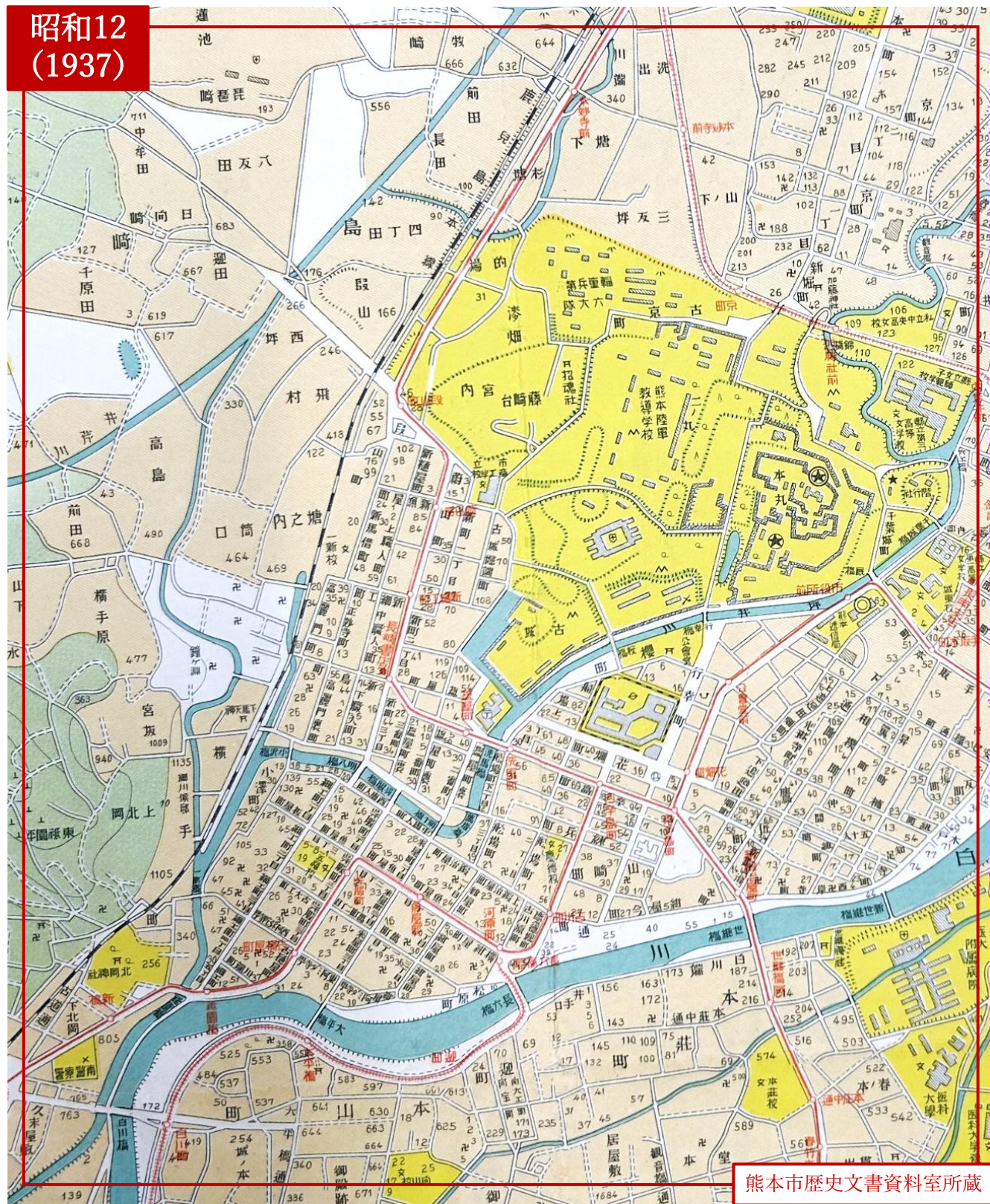
歴史に想いを馳せる

大正13
(1924)



熊本市歴史文書資料室所蔵

昭和12
(1937)



熊本市歴史文書資料室所蔵

データ

データ

他の政令指定都市と比較して、本市の現状を分析しました。

(各指標を偏差値化し、比較可能な状態にしました。値が「少ない」「低い」方が良好な状態を示す指標(※)は、平均よりも良好な状態であれば偏差値50以上になるように設定しています。)



こども・子育て

▶ **合計特殊出生率は高いが、
保育士一人当たりの児童数は多い**

合計特殊出生率

政令市**2**位

保育士(正規職員)一人当たりの児童数

政令市**17**位



経済・産業

▶ **農業が盛んで、半導体で地域経済発展の好機だが、
人手不足が深刻化**

農業産出額(人口一人当たり)

政令市**3**位

労働者(パートタイムを含む)の有効求人倍率

政令市**15**位



安全・安心

▶ **治安がよく安全・安心**

刑法犯認知件数(人口千人当たり)

政令市**2**位

消防署・出張所数(人口10万人当たり)

政令市**7**位



ダイバーシティ

▶ **女性と高齢者の労働力率が高い**

35～39歳女性労働力率

政令市**2**位

65歳以上労働力率

政令市**5**位



行政経営

▶ **税収は少なめだが、財政運営は良好**

経常収支比率

政令市**6**位

財政力指数

政令市**18**位



都市基盤

▶ **生活環境は良好だが、交通渋滞が恒常化**

1住宅当たり延べ面積

政令市**5**位

道路実延長(市域面積1km²当たり)

政令市**10**位



生活・医療

▶ **地域コミュニティ活動が活発で、医療も充実**

一般病院病床数(人口10万人当たり)

政令市**1**位

町内自治会加入率

政令市**3**位



環境

▶ **清らかな地下水と豊かな緑に恵まれている**

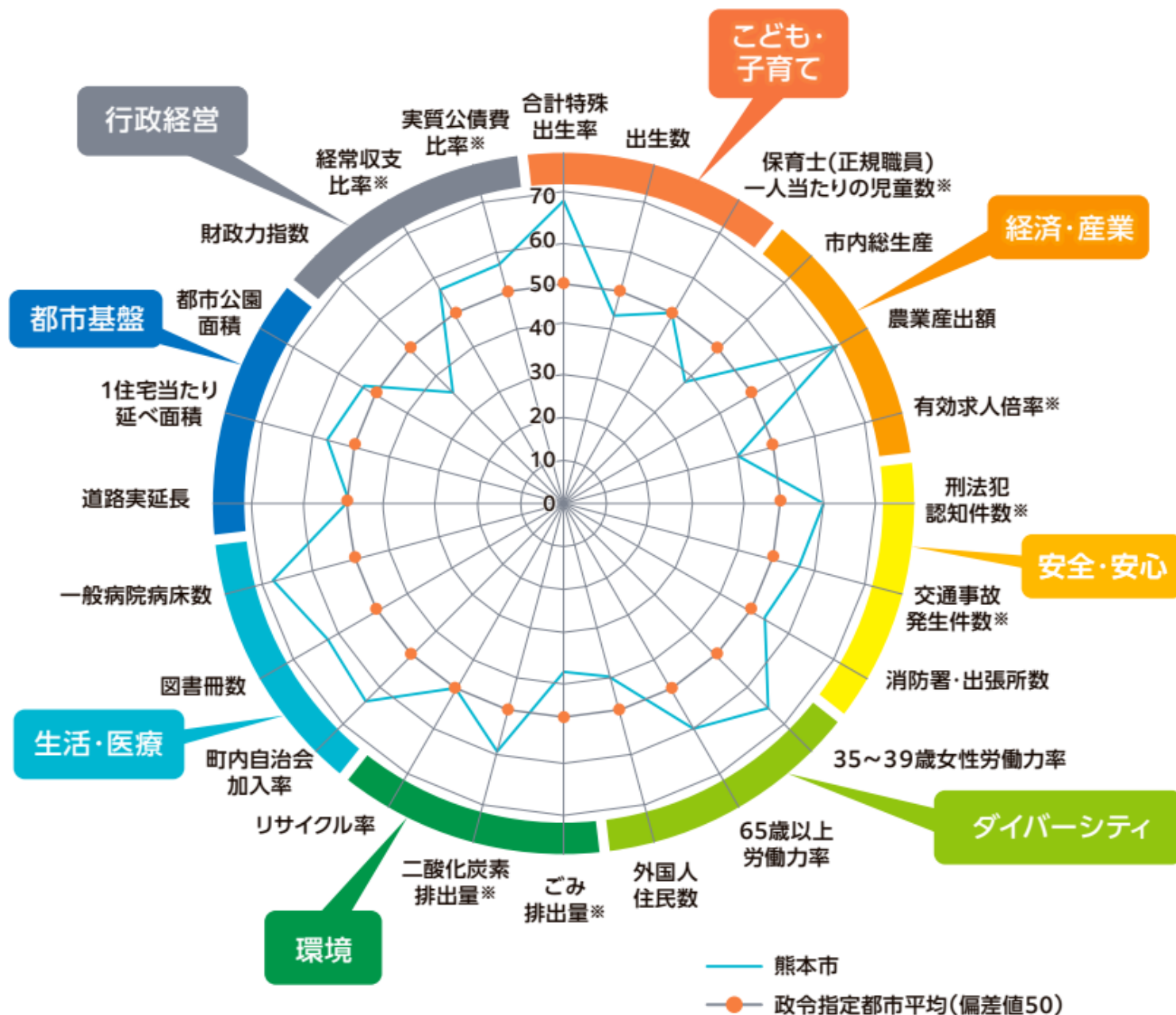
二酸化炭素排出量(人口一人当たり)

政令市**3**位

リサイクル率

政令市**10**位

レーダーチャートで見る本市の現状(政令指定都市比較)



出典「熊本市第8次総合計画概要版」

熊本市第8次総合計画概要版のページリンク→





（１）こども・子育て

合計特殊出生率が政令指定都市平均を上回っているものの、出生数や20～30歳代の女性の割合は低く、今後一層の少子化が進行することが見込まれます。

また、本市内の民間の医療機関では、事実上の内密出産が行われており、これに連動した国における法整備とともに、予期せぬ妊娠で生まれてくるこどもや母親のいのちと権利を守るための対応が求められています。

さらに、待機児童数は「ゼロ」の状況が続いているものの、保留児童数は令和5年（2023年）4月1日時点で385人となっているほか、保育士（正規職員）一人当たりの児童数は政令指定都市の平均程度であるなど、子育て・教育環境の更なる充実が必要です。

（２）経済・産業

農業産出額が政令指定都市で上位にあり、本市産業の特徴となっています。

一方で、本市の産業構成上、製造業の割合が低いことに起因し、製造品出荷額が低く、人口一人当たりの市内総生産が政令指定都市平均を下回っていますが、最近では世界最大の半導体企業の進出をきっかけとして関連産業の集積が進むなど、地域経済発展の好機が到来しています。

また、市内にはイノベーションの担い手となる高等教育機関やスタートアップ等が集積するなど、更なる発展に向けたポテンシャルを有しています。

しかし、有効求人倍率は政令指定都市の中でも高く、人手不足が深刻化していることから、このような好機をいかすためにも、人手不足解消に向けた取組が必要です。

（３）安全・安心

人口千人当たりの刑法犯認知件数や人口10万人当たりの交通事故の発生件数が政令指定都市平均より低く抑えられているとともに、人口10万人当たりの消防署・出張所の数は政令指定都市平均を上回るなど、市民が安全で安心して暮らせる環境が整っています。

また、熊本地震により甚大な被害を受けた本市では、その教訓をいかし、各校区に地域と連携した校区防災連絡会を設置するとともに、インフラの耐震化や多重化、福祉避難所の拡充など、ソフト・ハード両面から市民・地域・行政の災害対応力の強化に取り組んでいます。

（４）ダイバーシティ

35～39歳の女性労働力率、65歳以上の労働力率が九州の政令指定都市の中ではいずれも最も高くなっており、職業生活における女性や高齢者の活躍が進んでいる都市と言えます。

また、外国人住民数は、政令指定都市の中では少ない状況にありますが、半導体関連産業の集積等に伴い、今後、増えていくことが見込まれており、市民の多文化共生への理解向上と外国人住民の生活全般に関する支援が必要です。

（５）環境

二酸化炭素の排出量が政令指定都市の中でも低くなっています。

一方で、一世帯当たりのごみ排出量は政令指定都市の中でも多く、リサイクル率も政令指定都市平均程度であり、引き続きごみの発生抑制、資源循環に取り組むことが必要です。

また、清らかな地下水や豊かな緑といった自然環境に恵まれた都市であり、特に良質な地下水の保全に向けた取組については、国連”生命の水”最優秀賞を受賞するなど、国際的にも高い評価を得ています。

（６）生活・医療

町内自治会加入率が政令指定都市の中で上位にあるなど、地域コミュニティ活動が活発な都市であり、熊本地震においては、住民同士の助け合いによる共助の力が発揮され、困難を乗り越えてきました。

また、熊本城をはじめとした歴史的価値の高い文化財や多様な文化芸術が息づく、歴史と文化にあふれたまちであり、人口一人当たりの図書館の図書冊数も政令指定都市平均を上回るなど、市民の生涯学習や文化的素養を育む環境が充実しています。

さらに、人口10万人当たりの一般病院の病床数が政令指定都市平均を上回るなど、医療環境が充実した都市でもあります。

（７）都市基盤

住宅一戸当たりの面積が政令指定都市の中で上位にあり、人口一人当たりの公園面積も政令指定都市平均を上回るなど良好な生活環境に恵まれています。

また、本市は九州の中央に位置する地理的優位性を有し、高速道路や九州新幹線などの広域交通ネットワークの要衝となっている一方で、交通渋滞が恒常化しており、市域面積1㎢当たりの道路実延長は政令指定都市平均を下回っている状況です。

（８）行政経営

大規模な事業所が少ないことや地価が安いことなどから、固定資産税等の市税収入が他の政令指定都市と比べて少ないことが背景となり、財政力指数2）は政令指定都市平均を下回っています。

一方で、財政構造の弾力性を示す経常収支比率3）や借入金の返済額の大きさを示す実質公債費比率4）は、政令指定都市平均より良好な水準であり、財政運営そのものは健全な状態を維持しています。

ワーク

お題

新庁舎において、市民が注目するポイントを考えてみる

〔進め方①〕

① 新庁舎の「注目ポイント」を付箋に書いて貼る。



② 付箋が集まったら何らかのグループを分ける。



③ グループごとにマジックペンで囲み、グループ名を書く。

〔進め方②〕

④ 新庁舎は「どんな人」と関係するか付箋に書いて貼る。



⑤ ②と同じように、「どんな人」のグループを分ける。



⑥ ③と同じように、グループごとに囲み、グループ名を書く。

〔進め方③〕

⑦ 左枠と右枠のグループ間で関連があるグループ同士を線で結ぶ。
線は何本出ても大丈夫！

「注目ポイント」は？

「どんな人」に関係する？

